

JOCジュニアオリンピックカップ
平成28年度全日本ジュニア柔道体重別選手権大会長野県予選会

実施要項

1. 主催 長野県柔道連盟
2. 共催 財団法人長野県体育協会
3. 日時 平成28年4月10日(日) 午前9時00分 開会式
4. 会場 小諸市武道館 〒384-0802 小諸市乙1189
Tel 0267-23-3800

5. 競技方法

(1) 男女各8階級にて行う。

男子 ・55kg級 ・60kg級 ・66kg級 ・73kg級
・81kg級 ・90kg級 ・100kg級 ・100kg超級

女子 ・44kg級 ・48kg級 ・52kg級 ・57kg級
・63kg級 ・70kg級 ・78kg級 ・78kg超級

(2) トーナメント方式で行う。但し、人数によってはリーグ戦もありうる。

6. 出場資格

【男子】

- (1) 日本国籍を有し、長野県柔道連盟を通して全日本柔道連盟に登録している者。
- (2) 平成8年1月1日以降、平成13年12月31日以前の出生者。
(2016年中に15歳～20歳になる者)
- (3) 都道府県予選の出場は1地区に限る。
- (4) 前年度の県高校新人戦ベスト8入賞者。
- (5) 前年度の県中学総体決勝進出者2名。
- (6) (2)を満たし、長野県中学校体育連盟柔道専門委員長の推薦する、県中学新人戦優勝者。※(5)の決勝進出者
- (7) 各地区推薦4名(社会人、学生可)
- (8) 推薦出場枠として、前年度各階級優勝者で上記(1)・(2)の条件を満たす者は前年度階級から出場できる。
- (9) 各階級上下1階級の出場階級を選択できる。(ただし、シード権は消滅する。)

【女子】

男子出場資格(1)～(3)まで同様

- (4) 各地区からの出場数は制限しない。(オープン参加)

7. 審判規定

- ・国際柔道試合審判規定によって行う。
- ・試合時間は4分。
- ・優勢勝ちの判定基準は「有効」以上また、両者に得点差がない場合、指導が少ない者を「僅差」による優勢勝ちとする。全てにおいて同等の場合には、無制限の延長戦を行う。

8. 服装 「全日本柔道連盟の規定に合格している柔道着であること」

- ・選手は姓名・所属名を記したゼッケンを柔道着の背部に縫いつけていること。
- ※但し、進学等で年度当初柔道着が間に合わない場合は、前所属のものでも構わない。

9. 計量 当日午前8時00分～8時30分までに会場で行う。

10. 審判会議 午前8時30分より行う。

11. 申し込み方法

所定の用紙に記入の上、次の要領でお申し込み下さい。

- (1) 申込先 〒390-8525 松本市筑摩4-11-1 上本 圭介 宛
- (2) 締め切り 平成28年3月16日(水) 午後5時必着(郵送限定)
- (3) 参加料 1,000円(申し込みと同時に納付する。)

12. 上位大会への出場

各階級1名に7月10日(日)に富山県にて行われる北信越大会への出場権を与える。

- ※ 尚、当日全柔連主催の全国大会に参加する選手がいる場合には、
該当の階級においては後日、優勝者と代表決定戦を行います。

13. その他、以下の点に留意すること。

- ・脳震盪対応について(ジュニア以下の大会にて規定)

下記の条項を理解・確認をし、参加申し込みをもって了承したものとします。

1. 大会前1ヶ月以内に脳しんとうを受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
2. 大会中、脳しんとうを受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。
(なお、至急、専門医(脳神経外科)の精査を受けること。)
3. 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
4. 当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。

- ・皮膚真菌症について

皮膚真菌症(トリコフィトン・トンズランス感染症)については、発症の有無を各所属の責任において必ず確認する。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行う。もし、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、原則として大会への出場を禁止する。(ただし、2週間以内の治療証明書がある場合は、出場を認める)